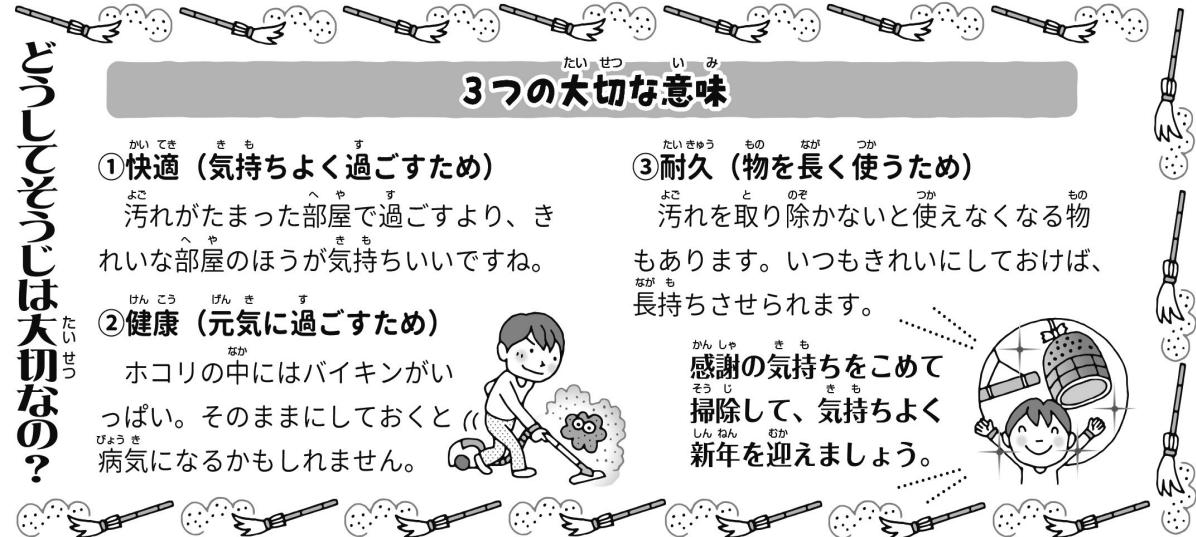




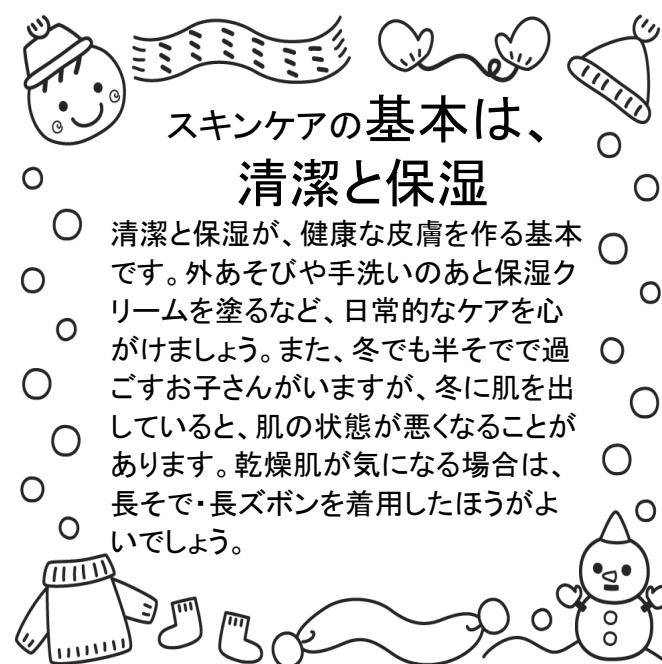
2020年12月 太陽の子保育園

ずいぶん風が冷たくない、いよいよ冬だなあと感じるようになりました。
これから冬本番、気温もぐっと下がって、空気も乾燥します。
感染症予防を心がけ、家族そろって元気に1年をしめくくたいですね。



MRワクチンの接種について

(年長さんの保護者の様へ)
MRワクチン（麻疹風疹混合生ワクチン）の接種第一期を1歳～2歳の間にかけて受けられたと思いますが、第二期の接種時期は5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間のお子さんが対象になっています。
この接種期間を過ぎてしまふと、定期の予防接種としてではなく、任意の予防接種として受けることになってしまいま



抗菌薬の服用は慎重に！

○抗菌薬とは、細菌の増殖を抑制したり殺したりする働きのある化学療法剤のことです。

○抗菌薬は、現代の医療において、感染症による生命予後の改善に大きく寄与してきました。その一方で不適正な抗菌薬使用に伴う有害事象として、薬剤耐性菌とそれに伴う感染症の増加が問題となっています。

○その流れをうけ、2018年度診療報酬改定では、「小児抗菌薬適正支援加算」が新設されました。小児科医が、患者（保護者）に対し、検査結果などを基に、抗菌薬を処方しない理由を説明した場合に算定できるというものです。これは、薬を処方しないことに、加算を設けるという今までにない画期的な取り組みです。



<病気の原因と抗菌薬>

病気	一般的な原因		抗菌薬
	ウイルス	細菌	
風邪/鼻水	○		不要
気管支炎/咳・痰 (元々、元気な成人/こども)	○		不要
百日咳		○	必要
インフルエンザ	○		不要
咽頭炎 (溶連菌以外)	○		不要
滲出性中耳炎	○		不要
尿路感染症		○	必要

○抗菌薬を2歳までに服用した乳幼児は、ぜんそくやアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患の発症リスクが、服用経験のない乳幼児と比べ1.4～1.72倍になるとの調査結果が、国立成育医療研究センターから報告されています。

<https://www.ncchd.go.jp/press/2018/antibiotic-use.html>



○風邪は、ウイルスが鼻やのどにくっついて炎症を起こし、くしゃみ、鼻水、せき、たん、のどの痛み、発熱などがでることを言います。この、「風邪の原因是ウイルス」というのが大切なポイントです。風邪の原因是細菌ではないのです。風邪の症状はいずれも、体がウイルスと戦っているサインです。風邪を治すのは自身の免疫力であり、お薬ではありません。医師が処方したり薬局で売られている風邪薬は、風邪のつらい症状に応じた治療（対症療法）で、ウイルスに対する根本的な治療ではありません。

ウイルス感染症に抗菌薬を使用しても、治療効果がないばかりか、副作用の可能性は上昇してしまいます。

